

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1694 号

The effect of gefitinib in patients with postoperative recurrent non-small cell lung cancer harboring mutations of the epidermal growth factor receptor

(上皮成長因子受容体遺伝子変異を有する非小細胞肺癌術後再発患者に対するゲフィチニブの効果の検討)

高 遼 (こう りょう)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、これまで明らかではなかった上皮成長因子受容体 (*EGFR*) 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の術後再発例に対する *EGFR* チロシンキナーゼ阻害薬の有効性を明確に示したものである。

現在 *EGFR* 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対する標準治療は、*EGFR* チロシンキナーゼ阻害薬あるいはプラチナ併用化学療法などの殺細胞性抗がん剤による全身化学療法とされているが、これらの治療では一旦治療効果が得られたとしても、概ね1年以内に耐性化を来し、治療抵抗性となる。本論文のデータは、全身の腫瘍細胞の量が診断時IV期例と術後再発例での *EGFR* チロシンキナーゼ阻害薬の無増悪生存期間あるいは全生存期間の差に影響している可能性を示唆している。これは現在 *EGFR* チロシンキナーゼ阻害薬単独で加療をされている *EGFR* 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対し外科的な腫瘍減量を併用することが、*EGFR* チロシンキナーゼ阻害薬の作用を高める可能性を支持するデータといえ、新たな治療戦略の開発につながる臨床的意義の高い論文といえる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。